

開催日時 11 月 3 日 ( 水 ) 会場 阿須運動公園ホッケー場 天候 晴れ

## 【試合結果】

<女子>					
第1試合	立命館大学	3	$\begin{pmatrix} 1 & - & 3 \\ 2 & - & 3 \end{pmatrix}$	6	天理大学
9:30					
<男子>					
第2試合	明治大学	4	$\begin{pmatrix} 1 & - & 2 \\ 3 & - & 5 \end{pmatrix}$	7	天理大学
11:00					
<女子>					
第3試合	山梨学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
12:30					
<男子>					
第4試合	立命館大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$	2	山梨学院大学
14:00					

【試合の結果・詳細】

立命館大学 3  $\begin{pmatrix} 1 & - 3 \\ 2 & - 3 \end{pmatrix}$  6 天理大学  
関西 関西

戦評	立ち上がり2分、天理のNo.7新井麻月がヒットで得点。更に攻める天理は9分、キーパーが弾いたボールに立命館DFが飛びつき止めるも、天理No.11大塚志穂が押し込み1点を追加。天理有利かと思われた22分、立命館No.14諏訪かおりのタッチをNo.2中村有希が押し込み、反撃の兆しを見せる。しかし30分に天理のPCでNo.9及川葉の鮮やかなプッシュがゴールを鳴らし、再び天理リードで前半終了。後半開始、負けられない立命館は18分にPCでNo.3中出公恵がタッチを決めると、続けて22分再び立命館のPC、No.10阪口真紀の得点で立命館が勢いを取り戻し、反撃が始まるも、28分と35分に天理が追加点を決め、その力を見せつけた。
----	--

明治大学 4  $\begin{pmatrix} 1 & - 2 \\ 3 & - 5 \end{pmatrix}$  7 天理大学  
関東 関西

戦評	前半6分、天理大学No.7伊藤太亮が豪快なヒットを決める。更に11分、天理大学No.11小澤浩平のボールがキーパーの隙間をぬって決まるが、その直後の15分、明治大学もカウンターで一気に攻め上がり、キーパーが弾いたボールをNo.22市橋大輝がヒットで押し込んだ。一進一退の攻防を繰り返しても、両者得点ならず、2-1の天理リードで前半終了。後半は両校惜しいシュートチャンスが多々あるも得点できない展開が続いたが、後半14分に明治大学No.9若槻省吾が押し込んで決め同点となり、戦いは激しさを増す。ここから両校の点取り合戦が始まる。後半20分には天理のNo.2佐々木康介が放った力強いヒットをサークル内でフリーで受けたNo.29坂本博紀が華麗なレバースシュートを決め会場が湧いた。目の話せない展開で後半を3-5で終え、結果4-7で天理が強さを見せつけた。
----	--

山梨学院大学 0  $\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$  1 東海学院大学  
関東 東海

戦評	観客席も満員となり大注目の女子決勝戦、前半11分に東海学院大学No.10石田明日華が押し込んで点を決める。東海学院大学が少々有利な展開で、山梨学院大学は反撃点を決められず、1-0で前半が終了した。後半も、両校ともフォーメーションやスクープなど多彩な攻め方からゴールを狙うが、互いに堅い守備で得点を許さない。終了間際33分に山梨学院が執念のPCを取るが、東海学院大学DFがそれを阻み、そのまま0対1で東海学院大学の優勝が決まった。
----	--

立命館学院大学 1  $\begin{pmatrix} 1 & - 1 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$  2 山梨学院大学  
関西 関東

戦評	試合開始直後から両校勢いあるプレーを展開する。前半10分、立命館大学No.1田中健太が山梨学院大学のパスをカットしゴール前まで攻め上がり、パスをうけたNo.10福島駿介がゴールを決めリードを奪う。しかし前半20分にペナルティコーナーでチャンスを得ると、今度は山梨学院大学No.26村田和麻がシュートを決め、同点に追いつく。一進一退の状況が続き、1-1で前半は終了した。後半はお互い譲らない展開が続く。遂に後半24分、山梨学院大学がペナルティコーナーを得ると、No.12内海好貴が華麗なタッチで均衡を破る。立命館大学も必死に反撃に出たが1点が遠く、そのまま1-2で山梨学院大学が優勝を決めた。
----	---